



特集 その後どのように暮らしていますか？

四季のうつろいと古民具を楽しむ暮らし



玄関アプローチ

特集 その後どのように暮らしていますか？

四季のうつろいと古民具を楽しむ暮らし

東村山市 | 木造一戸建て(建築家と建てる家) | W邸(ご夫婦+お子様1人)



1

ストーリー

今回ご紹介するのは、完成から約1年が経つ3人家族のW様の住まい。こちらの家の設計を手掛けた建築家の椿さんと一緒に、ご家族のその後の暮らしぶりを伺いました。

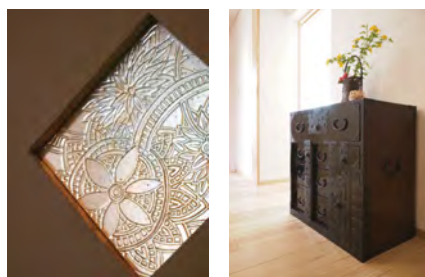
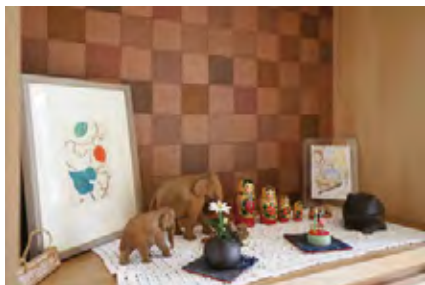
土地探しからはじまったW様の家づくり。「窓から緑の景色を眺められる、落ち着きのある場所に住みたい」——そんな条件で探していた中で出会ったのがこの場所でした。道の向かい側に並ぶ様々な樹々の様子を一目見て気に入り、その日に購入を決めたといいます。「土地が決まるのと同じ時期に[※]「あいらぼ」の家づくりイベントにも参加していたんですよ。展示されていた椿さんの作品がとても素敵だなあと考えていたら、その後営業スタッフの照美さんから偶然にも椿さんをご紹介頂けたんです」と、当時のきっかけやエピソードを笑顔で振り返るW様。

※あいらぼ…相羽建設とつながる住宅建築家グループ

ainoha 2019*may-03

2

古民具と手仕事が暮らしを彩る



- 1
- 2
- 3
- 4

1. 玄関収納棚奥の壁紙は柿渋和紙作品(Lasen 布施朝子)。2. ドアにはめ込まれた美しい色のガラス作品(Otani Yoshiko Glass 大谷佳子)。3,4. 時代家具のお店「古福庵」で手に入れた筆筒と火鉢。



2階リビング

▲ ガラスのペンダントライトは大谷佳子さんの作品

趣味の古民具めぐりをはじめ、古民具やガラス・陶芸作品を集めるのがお好きなW様ご夫婦。家の随所に趣のある家具や道具が設えられていました。さらにガラス作家さんオーダーメイドの照明や表札、和紙作家さんによる市松模様の壁紙施工……と、色々な手仕事の要素が調和し、

家のどこにいても居心地の良さを感じます。

「障子や襖、畳など日本の家に昔からあった空間をつくりたかったんです。気持ちが落ち着きますし、古民具も映えて、置きたくなる。以前住んでいたマンションでは難しかったのですが、ここだと楽しく飾れます」。また、家を建ててか

ら人を招く機会も増えたといいます。「椿さんをはじめ、職人さんや作家さんたちが建ててくれたからこそ、その良さをいろんな方に紹介したいし味わってもらいたいと感じるようになりました。家づくりは暮らしの幅を広げてくれますね」とニコリ。



特集 その後どのように暮らしていますか？

まちにひらいたギャラリーのある家

特集 その後どのように暮らしていますか？

まちにひらいたギャラリーのある家

東京都稲城市 | 木造一戸建て(木造ドミノ住宅)&ギャラリー | I邸(ご夫婦+お子さま1人)



1

ストーリー

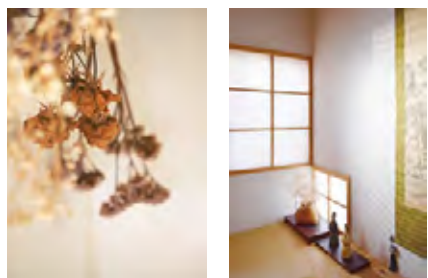
今回ご紹介するのは、つい最近お仕事を退職され、セカンドライフを楽しまれているご夫婦と息子さんの暮らし。お散歩や通勤中の人々が行き交うゆったりとした並木道のそばに、I様の住まいはあります。そして家の前には可愛らしい小さなギャラリーも。

「結婚した頃から "自分の好きな家をつくりたい" と思っていました」とご主人。実は以前は別の場所に家を建てて暮らされていました。「その家はとても良いおうちでしたが、玄関・廊下・リビング……と固定された動線でした。家族のことを考えると、帰ってきたらお互いが顔を合わせられるような間取りがいいなって、ずっと思っていたんですよ」。その後素敵な土地と出会い、I様の2度目の家づくりがはじまったのです。



2

つい長居したくなる場所



壁は塗り壁、天井の装飾は板張りにするなど、素材を変えたことで従来の「木造ドミノ住宅」のシンプルな雰囲気とまた違った深みのある印象に。



どこにいてもお互いの顔が見える1階リビング

▲この日は近くに住むI様ご夫婦の娘さんが、お子さんを連れて遊びに来ていました

住まいを設計したのは、建築家の市川淳さん（市川設計）。「間取りや素材の希望はもちろん、ギャラリースペースやまちとのつながり。あと、週に一度お友達が遊びに来るので、みんながくつろげる空間にできれば……そんな色々な想いを市川さんにお話ししました。」と奥様。そうして

何度も打ち合わせを重ね、I様のご要望もとに立地を活かした市川さんならではの設計、さらに職人さんたちの丁寧な手仕事により、自然素材に囲まれた現在の素敵な住まいができあがったのです。玄関から家の中へ入るとすぐにリビングが広がり、"家族が帰ってきたら顔を合

わせられる"という動線も自然と取り入れられていました。「家にお友達が来ると居心地が良く、みんな時間を忘れてゆっくりしていますよ」とにっこり。窓の外にはご主人がお手入れされているお庭があり、ダイニングテーブルの席から眺める美しい緑の景色は格別です。

3 暮らしの工夫



1: 様々な食器が飾られている1階ダイニングスペース。2: 古道具屋で出会った時計。3: トルコに訪れた際に絨毯に惚れ込み、現在20点ほどのコレクションがあるそう。4: 眺めの良い2階は書斎兼奥様の洋裁スペース。



ご主人の実家で使っていた建具を再利用

新築祝いで頂いたというステンドグラス

▲ お気に入りの道具に囲まれた暮らし

絵画や食器、古道具や絨毯など世界中から様々なモノを集められているご主人。それらを活かして家全体をギャラリースペースのように楽しめたら……と、ダイニングスペースには食器がたくさん並ぶ大きな収納棚、各部屋には色とりどりの絨毯や絵が飾られていました。

まちにひらいた ギャラリー



購入した土地が大通りのすぐそばだったことから、地域の人たちと親しくなる場所にしようと建てられたギャラリースペース。「街並みから考えて、家の前にワンクッションあった方がプライバシーも守られますし、何より道行く人たちにも楽しんで頂けると思って」と笑顔の奥様。

1: 大通りに面したギャラリー「BearFruits」。2, 3: 現在は、作家活動をされている娘さんの作品を常設展示中。4: 道を歩いていると四角い窓からギャラリーの様子が楽しめます。逆に内部から、四角い窓の風景が一つの作品の様にも見えます。



取材後記

子育てをしてきた中で家のづくりの考え方、まちや人との心地良い距離感、そして自分たちの好きなモノやコトなど、「様の長年の想いがカタチになった素敵な住まいでした。取材中での「普段使いできるものを飾っている」という言葉もとても印象深く、家モノも使っていくからこそ、より愛着や味わいが出てくるのだなあとしみじみ感じました。(記: 広報 吉川)



▲ 美味しいパスタも頂きました



設計: 市川設計(市川 淳) <http://a-r-ch.com/>
 施工: 相羽建設/撮影取材・編集: 伊藤・吉川・市川
 ainohaバックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>



3 住まいの見どころ

景色を眺めて過ごす

景色を楽しめる窓のあるキッチンや、自然の風が気持ち良い
インナーバルコニーなど、外との豊かにつながりを暮らしの中に
取り入れる工夫がたくさんありました。お庭にも多種多様な植栽
が植えられていて、四季折々の風景を身近に感じられる住まい。



1.小径のある素敵なお庭。造園デザインは「にしお設計室
(西尾春美)」。2.火鉢を持ち込んで食を楽しんだり、本を
読んだり。時には瞑想スペースにもなるインナーバルコ
ニー。3.料理をしながら外の景色を眺められるキッチン。



1,2.アロマやオーラソーマを体験できる
サロン。3.ゆくゆくは茶室にしたいという、
薩摩中霧島壁を用いた和室。4.美味しい抹茶
とお菓子。5.可愛い千鳥型の襦の引手。



おもてなしの空間

家づくり当初からの希望だったというサロンスペースと和室。
この日は和室でお茶も点てて頂き、日常とは違う特別な気持ちを
味わうことができました。さらにこの夏からヒーリングサロン
(Kutumi)をオープン予定とのお話も伺いました。楽しみです。

取材後記

見どころいっぱいW様の住まい。部屋の一つひとつに心地良く感じる工夫や暮らしに取り入れ
れたくなるポイント、そしてめずらしい古民具がたくさんあってワクワクしました。火鉢で焼いて
頂いた、きび餅入りおしるこも格別! サロンスペースではオーラソーマについてもちょっと教え
て頂きとても興味がわきました。夏のオープンもとても待ち遠しいです。(記: 広報 吉川)



設計:ツバキハウス(椿千賀子) <http://tsubakihouse.c.ooco.jp/>
施工:相羽建設/撮影取材・編集:椿・伊藤・吉川
ainoha/バックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>



5月26日にW様の住まい見学会を
開催します! →詳しくはP.8へ



特集 その後どのように暮らしていますか？

川辺の景色と風を呼び込む家

特集 その後どのように暮らしていますか？

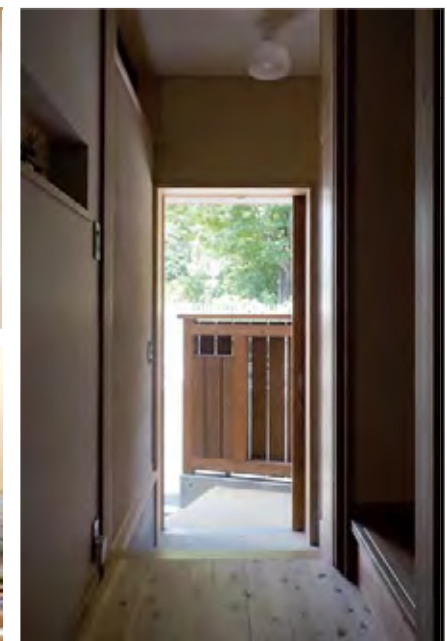
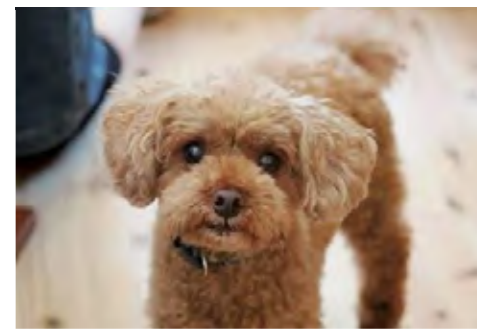
川辺の景色と風を呼び込む家

東京都清瀬市 | 木造一戸建て | K邸(ご夫婦+お子さま2人)



1 ストーリー

家のすぐ目の前にひろがる、緑いっぱいの公園と自然豊かな川辺の景色。こちらに住みはじめて1年ほど経つK様ご家族に、当時の家づくりと現在の暮らしぶりを伺いました。「以前は青梅市に住んでいたんですが、職場が変わったこともあり、この川沿いの立地に惚れて8年前に引っ越してきたんです」。当時この場所に建っていた中古住宅を購入し、リフォームして住んでいたというK様。その後数年が経ち、建て替えか引っ越しを検討されていたそうです。「ある日チラシで『つむじ』を知って見学に行っただけなんです。建築家の伊礼智さんや家具デザイナーの小泉誠さんが手掛けた空間を体感して、建物のデザインや木の感じも好きだったので、建て替えるならばぜひこんな雰囲気になりたいと思いました」。



▲ 景色をより引き立てる大きな木製窓のあるリビング

2 立地を熟知した設計

設計のお仕事をしているご主人。家づくりでは、伊礼さんの建築デザインや素材感をベースに、基本プランはご主人が担当し、全体の調整や詳細設計をツバキハウスの椿千賀子さんが担当しました。「建て替える前は1階

リビングだったこともあり、家の前の遊歩道を歩く人たちの視線が気になっていたので、新しい家では2階リビングを計画したんです」とK様。実際にこの場所に住んでいたからこそ感じていた「もっとこうしてみたい」という

日々の想像。それをもとに外の景色や光の採り入れ方、間取りや動線を椿さんと再検討し、立地を最大限に活かした素敵な住まいが完成しました。ソファにゆったりと腰かけながら外の景色を眺める時間は至福のひとつとき。

3 暮らしの工夫



1: 愛犬ルイくん遊ぶ息子さんたち。2: 池袋に本店がある「BOOKANDBED」をイメージした空間。素材はJパネル。3: ベッド上段部分。4: ベッド下段部分。5: アロマオイルのハンドマッサージ。



洗面台の壁には可愛い丸のタイルを使用

気持ち良く風が抜けるサンルーム



▲ 住まいのこだわり

1階は本好きな2人の息子さんたちのための、本棚とベッドが一つになった造作家具のある空間。他にも夜空を眺められるサンルームや、奥様のアロマトリートメントスペースなど、家族みんなが暮らしを楽しめる居場所がたくさんありました。

外の景色を楽しむ



各部屋から川辺の景色を一望できるK様の住まい。「もう子どもたちも大きいので、それぞれが自分たちの時間を大事に過ごせるようになりました」とK様。同じ家で過ごすつつも、時には和室やお風呂でのんびりと一人時間を楽しめる、心地良い距離感のある暮らし。



1: 公園の景色を眺められる2階リビングの特等席。2: 穏やかに流れる家の前の川。3: 外の風景を楽しみながら入られるお風呂。4: 以前の家で使っていた、一枚板のカウンターを再活用した1階和室。



取材後記

「椿さんや高橋大工さん、担当スタッフの新藤さんが私たちの要望を一つひとつ丁寧に受け止めて、応えてくださったのが嬉しかったです」と笑顔でお話くださったK様。素材感や細かいあしらいなど、いろいろな要素を上手に取り入れながらも統一感のあるデザインは本当に素晴らしい、家はみんなで一緒につくっていくものなのだなあと改めて感じました。(記: 広報 吉川)



設計: お施主様+ツバキハウス(椿千賀子) <http://tsubakihouse.c.ooco.jp/pg11.html>
 施工: 相羽建設/撮影取材・編集: 伊藤・吉川
 ainohaバックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>



▲ K様ご家族と設計者の椿さん